幸せのための森林との付き合い方を求めて／マーケットと環境を結びつける

関連するSDGsの国際目標

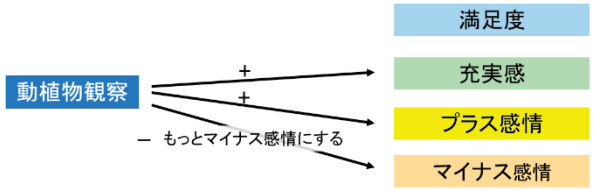
環境科学部　環境社会システム学科　教授　　高橋　卓也
研究分野　：環境経営　森林政策・計画
http://www.asahi-net.or.jp/~zf6t-tkhs/

経済学・経営学の視点から、環境問題に取り組みます。人びとの幸福度を高める森林経営とはどのようなものでしょうか？環境配慮型の経営を進めるには、どのような仕組み、企業文化であればよいのでしょうか？実態調査から考えます。

■　テーマ１：　森林・林業の政策・計画

- 森林経営と人びとの幸せ（ウェルビーイング、主観的幸福度）の関係性の解明
- 環境を配慮した革新的森林経営手法の開発改革 ― 環境支払い、森林認証、森林サービス産業
- 境界不明確森林・所有者不明森林問題の実態解明
- 集落共有林（入会［いりあい］林；コモンズの森林）の経営 ― 構成員の関心を高める方策、自然公園的利用、etc.
- 滋賀県の木材流通の改革 ― 周辺府県との交錯流通をどうするか、地域材運動、「木の駅」運動（自家伐採木材の買い取り）etc.
- 学校林の運営、森林環境教育（「山の子」事業）等の実態調査・改善策の提案、木育（もくいく；木との親しみを生み出す教育）の提案
- 山村振興、限界集落問題、山村の観光
- 獣害問題

森林関連活動の森林幸福度への影響

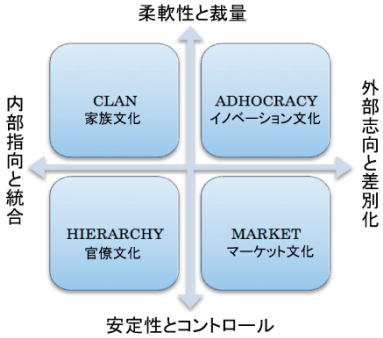


- 4種類それぞれの森林幸福度に、それぞれの活動が異なった影響を及ぼす。
  - 動植物観察は森林充足感、プラス感情に関しては正の影響を与えるが、マイナス感情をより強くする（獣害によるものだろう）

■　テーマ２：　環境経営

- 企業文化と環境経営の関連性
- 環境マネジメントシステムの効果を高めるにはどうすればよいか？ 環境マーケティング ― 環境ラベル製品に対する需要の拡大、森林認証・漁業認証の認知度・購買意欲の現状、etc. 環境配慮購入の実態調査
- 環境産業、環境ビジネスの可能性（ ⇒ 環境を浄化したり、環境負荷を低減したりする機器、装置、サービス等を提供する産業には大きな可能性がある。そうした産業、ビジネスの具体的課題を解明していく。）
- 日本のCSRの源流ともいわれる近江商人の「三方よし」の現代的意義、世界の中での位置づけ

四つのタイプの企業文化(Cameron and Quinn, 2006)



どのタイプの文化が環境経営になじむのか？

Masaki Sugita, Takuya Takahashi (2015) Influence of Corporate Culture on Environmental Management Performance: An Empirical Study of Japanese Firms, *Corporate Social Responsibility and Environmental Management* 22(3): 182-192.
（企業文化が環境マネジメント成果に及ぼす影響：日本企業の実証的調査）